

写真1　西念寺　本堂



写真2　半蔵の墓

近隣史跡の紹介

西念寺

前号、このコーナーで取り上げた半蔵門。

江戸城の出入口の要所となる半蔵門はその警備を担当した服部半蔵の名に由来することを前号で紹介いたしました。

服部半蔵は伊賀の忍者としてその名を広く知られていますが、実際には伊賀忍者の末裔で、徳川家康に仕えた戦国武将です。

“槍の半蔵”や“鬼の半蔵”の異名を持つ猛将で、家康の天下統一や天下統一後の江戸の治安維持に尽力しました。

後年、半蔵は「西念」という法名で仏門に入り、麹町清水谷に安養院を建立しました。安養院は半蔵の死後、江戸城の壕の拡張工事に伴い四谷（新宿区若葉二丁目）に移され、半蔵の法名をとって建立されたのが「西念寺」（写真1）です。

「西念寺」が所在する地域は、江戸時代には伊賀町と呼ばれ、徳川家に仕えた伊賀衆の組屋敷があったとされています。

「西念寺」の本堂右隣には、服部半蔵の墓（写真2）があり、本堂には半蔵の愛用した槍（写真3）が所蔵されています。

参考文献

三重県東京事務所
（URL：　http://www.pref.mie.lg.jp/TOKYO/HP/43203035386.htm）
（一社）新宿観光振興協会
（URL：　http://www.kanko-shinjuku.jp/course/tabid/120/pdid/349/Default.aspx）
歴史人HP「第28回「服部半蔵の眠る町【四谷駅】」
（URL：　http://www.rekishijin.jp/rekishijinblog/ando/11-1214/）

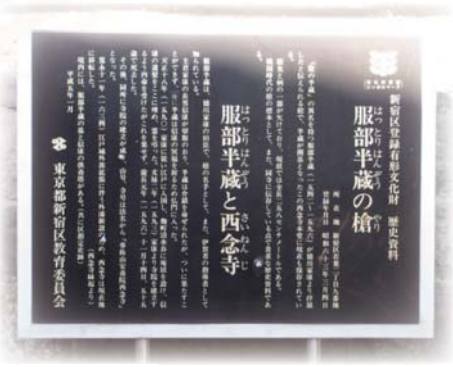


写真3　半蔵の槍（看板）

